

申請者	学科名	デザイン工学科	職名	准教授	氏名	西川 博美
調査研究課題	アジアにおける連続店屋建築の成立に関する調査研究－台湾を中心に－					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表分担者	西川 博美	デザイン学部・准教授	アジア都市史	全体の統括	
調査研究実績の概要	<p>日本統治時代に建設された連続店屋建築が並ぶ台湾の町並みの成立に関しての研究を実施した。これまで、台湾の地方都市を中心に、店屋の亭仔脚（歩廊）の形成と利用実態などから「老街」の形成と保存では、住民による主体的なまちづくりの事業が強く反映されている実態を明らかにしてきた。</p> <p>本年度に中心的に行った研究は、明治37年と昭和10年に台湾中部で起こった地震災害に着目し、市区改正（都市計画）と災害復興の関連についての分析である。店屋の構造が煉瓦造から鉄筋コンクリート造へ移行し、店屋のファサード（立面）意匠にも変化をもたらした経緯を詳細に明らかにし、その成果を研究論文としてまとめ、国際会議で発表した。</p> <p>他にも、日本統治の影響が少なかった台湾の地方の町並みを調査することで、その意匠の比較を行なうなど、多方面からの研究を実施することとなった。</p> <p><台湾の大学と歴史的町並みの共同調査></p> <p>台湾での連続店屋建築が並ぶ歴史的まちなみ調査にあたり、主に台湾大学大学院芸術史研究所のメンバー等と協力体制で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾大学・黄蘭翔教授と今年度の歴史的町並みに関する研究調査内容について京都で打合せを行った（平成27年6月28日）。 台湾大学・大学院博士課程のメンバー等と、台湾・金門島に残る町並みの分布調査と住宅建築の実測調査を行った（平成27年8月22日 - 26日・台湾）。成果資料目録⑤ 台湾大学・黄蘭翔教授が研究する、わが国の儒教建築について、岡山県・広島県での実地調査に協力し、わが国との比較研究に役立てた（平成27年10月23日）。 					

<p>調査研究実績の概要</p>	<p><文献資料収集> 国内と台湾の図書館・資料館で研究に関する文献資料収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立中央図書館（平成27年8月20日） ・国立台湾図書館（平成28年8月26日・台湾） ・国立国会図書館（平成28年1月23日） ・国立台湾大学図書館（平成28年3月12日・台湾） ・国史館台湾文献館（平成28年3月14日・台湾） ・国立公共資料図書館（平成28年3月15日・台湾） <p><学会研究発表> 本助成金を用いて研究した成果を含む学術研究について、国内外の学会にて口頭発表を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度日本建築学会大会（関東）にて、「台湾における市区改正によらない軒下歩道（亭仔脚）の町並み形成について」西川博美、の口頭発表を行った（平成27年9月4日）。成果資料目録① ・韓国光州で開催された国際会議EAAC2015GWANGUにて「The Earthquake Disaster Reconstruction and the Walk-Way under Eaves During Japanese Colonial Period in Taiwan」Hiromi NISHIKAWA、の口頭発表を行った（平成27年11月12日・韓国）。成果資料目録② <p><講演会・講座での研究に関する発表> これまで調査研究した内容を、国内外の団体・大学が開催する講演会・講座で発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾国立雲林科技大学で開催された『雲林科技大学設計学院・岡山県立大学デザイン学部学術研究発表会』にて、「斗六老街的建設」の講義を行った（平成27年9月21日・台湾）。 ・日本建築家協会中国支部岡山地域会『文化と建築を考えるセミナー』にて、「台湾の歴史的建築物の保存とデザインの可能性」西川博美、の講演を行った（平成27年10月8日）。 <p><学術誌等の掲載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hiromi NISHIKAWA、「The Earthquake Disaster Reconstruction and the Walk-Way under Eaves During Japanese Colonial Period in Taiwan」、『EAAC 2015 GWANGJU』East Asian Architecture Cultural International Conference 2015、査読有、p. 857-860、2015年11月。成果資料目録② ・日本建築士会連合会の会誌『建築士』のオピニオンに3回にわたって、台湾の歴史的町並みに関する文章を執筆、掲載された（平成27年10月1日、11月1日、12月1日・韓国）。成果資料目録③④⑤ <p><研究会等の参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者・中川理、基盤研究（A）「戦前期わが国の都市空間システムに関する歴史的研究」の『都市基盤史研究会』に平成27年度は連携研究者として参加した。
<p>成果資料目録</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 西川博美、「台湾における市区改正計画によらない軒下歩道（亭仔脚）の町並み形成について」、日本建築学会大会[関東]学術講演梗概集、査読無、pp. 59-60、2015年9月。 ② Hiromi NISHIKAWA、「The Earthquake Disaster Reconstruction and the Walk-Way under Eaves During Japanese Colonial Period in Taiwan」、『EAAC 2015 GWANGJU』East Asian Architecture Cultural International Conference 2015（韓国）、査読有、p. 857-860、2015年11月。 ③ 西川博美、「台湾の町並みとその軒下歩道」、『建築士』日本建築士会連合会、第64巻 第757号、p. 3、2015年10月。 ④ 西川博美、「台湾・台南のデパート建築の再生」、『建築士』日本建築士会連合会、第64巻 第758号、p. 3、2015年11月。 ⑤ 西川博美、「台湾・金門島の町並み」、『建築士』日本建築士会連合会、第64巻 第759号、p. 3、2015年12月。